



## やまと

暑い季節がやってまいりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

やまとでは、4月に花見を羽高湖にて行いました。新型コロナウイルスがまだ収まってない中、開催するべきか事業所内で協議した結果、感染対策とソーシャルディスタンスを保つ形で開催することになりました。利用者さんからは、「今年できないかもしれないと思っていた。出来て嬉しい」という声が聞かれました。今年は、広島が全国で一番早く開花したことあり、少し閑散としていましたが、花見を楽しめました。4月から新しく加わったスタッフさんと交流もでき、とてもよい時間となりました。

花見を終えると、本格的に田植えに向けての作業が忙しくなります。昨年度まで米作りを担当されていた職員が異動になって初めてのお米作りということもあり、地域の方々もこれまで以上に気にかけてください、色々とアドバイスやご指導をしていただきました。



しづかき



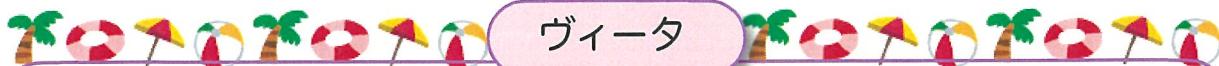
GWまでに耕うん作業を終え、代掻き作業を行いました。代掻き作業は、耕うんした田んぼに水を入れ、縦、横、外周と畝を平らにしていく作業になります。この作業がとても肝心で時間のかかる作業です。地域の方々には、「ここは再度こうした方がよい」など具体的なご指導をいただき、学ぶことが多くとても勉強になりました。代掻き後、一週間程度の間をあけると田植えのできる状態になります。田植えは、植えはじめと終わりを確認してから行います。植え方を間違えると、せっかく植えたところを機械で踏みつぶすことになるからです。苗が多少重なる分には大丈夫なのですが、重なりすぎると苗の生育に影響がでてしまいます。そこを地域の方々に教えていただきつつ、利用者の皆さんと作業をしました。そして、今年も無事に田植えを終えることができました。ご協力くださった地域の方々、利用者の皆様本当にありがとうございました。



田植え

普段当たり前のように口にするお米ですが、作るとなるとこんなに大変なのか、と改めて実感します。また、ネギも春先から夏にかけて大きく成長する時期です。4月半ばから新しく取引先も増えました。暑い中でのハウス作業はとても大変ですが、一つ一つの作業が今後のネギに生育に関わる大切な作業です。時間のかかる作業も中にはありますが、利用者さんと協力しながら日々の業務を頑張っていきます！

新型コロナウイルス感染症がいまだ猛威を振るっておりますが、感染症対策を徹底して業務に取り組んでいきたいと思います。皆様におかれましても、長引く自粛生活の疲れがあると思いますが、お身体にはくれぐれもご自愛ください。



## ヴィータ

ようやく梅雨が明け、夏の暑さも本番となりましたが、お変わりなくお過ごしでしょうか。さてヴィータでは、新規作業としてレンタル養生の洗浄作業を始めました。始めるにあたり職員・利用者さんともに研修を受け、一連の流れとしてパネル・袋の仕分、パネルの分割、洗浄、乾燥作業、検品、袋詰めを学びました。そこで利用者さんにレンタル養生洗浄作業についてYさんとMさんにインタビューを行いました。



——「洗浄作業の研修を受けた際の感想をお聞かせ下さい。」

Yさん

「研修を受けた時にパネルが入っている倉庫を見て、倉庫の中にいっぱい入っているパネルの袋を見てビックリしました。」

Mさん

「最初は覚えることが多くて大変でした。説明をしてくださったんですけど、実際に分からぬ事は研修の講師の方に聞いたりして一応解決はしました。」

——「洗浄作業を1ヶ月経過した現在の感想をお聞かせください。」

Yさん

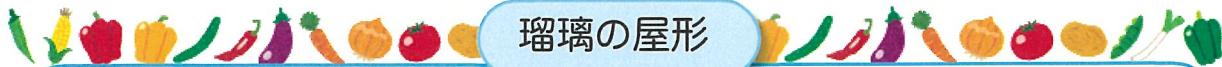
「まだ商品によったら分からない物があるので、職員さんにやる前に確認を取って自分なりに自分の仕事をできる様になっています！」

Mさん

「僕は結構洗う作業が多くてそれはやっぱり慣れてきました。ですが、検品とか分別とかそこは分からなかったり完全には覚えていないです。でも職員さんに聞いてだいぶ分かってきたところもあります。」

皆さん初めての作業研修ということで緊張されていました。しかし、いざ研修が始まると利用者の皆さんは進んでメモを取り、分からぬことがあれば積極的に質問をされるなど、新しい作業に対して前向きに取り組まれている姿が印象的でした。就労訓練の一環として、とても良い経験になりました。Yさん、Mさん、お忙しい中インタビューを受けて下さりありがとうございました。

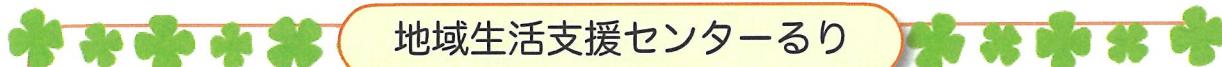




### 瑠璃の屋形

日差しも強くなり、夏本番が近づいてまいりました。暑さの厳しい夏を、どうにか元気に乗り越えたいものですね。

さて、瑠璃だより夏号では、『新聞袋』についてご紹介いたします。『新聞袋』は、軽作業に携わる利用者さんに取り組んでいただいている作業のひとつで、利用者さんが1枚1枚丁寧に作っています。作った袋は、直売市で10枚セット20円で販売をしています。この『新聞袋』は、お客様からご好評をいただいており、リピーターの方も多くいらっしゃいます。「野菜を保存する時に使いやすい!」「近所の人に野菜のおすそわけをする時に入れていくと、袋を褒めてもらえる!」「マチがあるから、意外とたくさん入って便利!」「新聞だけど頑丈!」「ごみを入れてそのまま捨てるのにちょうどいい!」といったお褒めの言葉をいただいている。袋が売れると、利用者さんが嬉しそうに「売れたよ!」と報告してくださるので、私たち職員もとても嬉しい気持ちになります。もし新聞袋にご興味がありましたら、直売市へお立ち寄りいただければ幸いです。



### 地域生活支援センターるり

2021年4月1日よりやまとから地域生活支援センターるりに異動となりました多田圭希と申します。利用される皆様からのご意見をいただきながら利用しやすいセンターになるように努めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

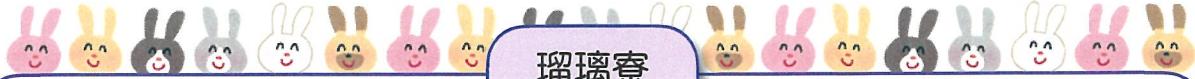
5月から新しいプログラムとして「尾道ウォーキング」を企画しました。歩くことは健康増進につながりますし、ここ支援センターるりは尾道駅のそばに立地し、その周辺には多くの隠れた面白いスポットが点在しています。みなさんと歩きながら「こんなところにこんな場所があったんだ」と発見できればと思っています。5月15日のウォーキングでは三軒家アパートメントという場所を訪れました。さまざまなお店が集合している場所で喫茶店、雑貨屋、古本屋、レコード屋さん等があります。参加された方は久しぶりの喫茶店に少し緊張されていましたがとても新鮮な気分になったようです。またいろいろと発見していきたいと思



います。みなさんも尾道再発見してみませんか。(写真左はセンターに設置したレコードプレーヤーです。写真右は5月のパステルアートの作品です。)



雨粒にアジサイ



## 瑠璃寮

本年も、はや半年が過ぎようとしており、時の早さを感じるこの頃、皆さんにおかれましては、実り多い半年であったことと拝察致します。今号では、瑠璃寮の通所型生活訓練プログラムとして取り組んでいる『茶話会』をピックアップしてご紹介します。

このプログラムは、参加者同士の交流を通じて、お互いへの理解を深めたり、寮内の生活の円滑化を図ったりすることを目的としています。普段はなかなか会話する機会のない利用者同士でも、活動を通じて交流することのできる良い機会となっています。

このプログラムでは、参加者が一人一つテーマを持ち寄ります。テーマとは、他の参加者や職員に聞いてみたいことです。実際に最近の茶話会で出たテーマは、「雨で洗濯物が乾かない時にしている工夫」、「瑠璃寮を卒業するまでにしておきたいこと」、「居室での過ごし方（空き時間の活用方法）」、「緊急事態宣言が解除されたら行きたい場所」などです。今後の生活の参考になるものや話していく楽しくなるものが多いように感じます。参加者がテーマを持ち寄ることで、「聞いてみたいけど、なかなか聞けないこと（聞く機会のないこと）」を気軽に聞けるのがこのプログラムの良さだと思います。

コロナ禍で、人と交流する機会が減っているこのご時世ではありますが、感染対策を徹底し、今後も続けていきたいと思います。



## 希望の家

お便りが届く頃にはセミの大合唱に夏の訪れを知るこの頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。今回の記事では、5、6月で行った各グループホームのシティークリーニング（地域清掃）と避難訓練についてご紹介します。

希望の家では、町内会に入会し地域行事に参加させて頂いています。シティークリーニングでは、川掃除からホーム周辺の溝掃除や、草取り、町内会で決められた場所の清掃を行いました。去年はコロナの関係で中止となっていましたが、今年は感染症予防対策を行い、参加することができました。コロナ禍でも普段よりお世話になっている地域の方と顔を合わせた交流をすることができて良かったです。



他に年2回、避難訓練を行っています。今回は実際に火災が起きた際にどのような行動するのか、役割を決め訓練をしました。実際にやってみて気づくこともありました。利用者の方から質問が出たり、災害時に役立つことを教えてくださる方もおられ、各自真剣に取り組んでおられました。いざという時には自分で自分のことを守ることができるようになる訓練を、今後も継続し行っていきたいと思います。本格的な夏を迎えるました。皆様のご健康をお祈りいたしております。

## 新人職員紹介コーナー



初めまして。4月1日付けで尾道のぞみ会に入職し、希望の家の配属になりました、岡田です。高校生の時から人をサポートする仕事につきたいと考えていました。

実際に沢山の方と関わることができ、やりがいを感じます。また、相談してくれた時や、私を頼ってもらえた時、とても嬉しく思いもっと頑張ろうと思えます。自分に足りないところを見つけることもでき、成長できる仕事だと思います。入ったばかりで、分からぬ事だらけですが精一杯頑張ります。

私の趣味はドライブすることです。音楽を聴きながら友達と、夜景を良く見に行きます。ドライブをしながら好きな音楽を聴いて息抜きをしています。

夢は車をカスタムすることです。親の影響で車が好きになり、自分の車を一番かっこよく乗りたいです。これから仕事を頑張って車を買いたいです。



はじめまして。四月から尾道のぞみ会「やまと」に所属しました山下と申します。

広島市出身、家族は夫と小学生の子供一人です。趣味は登山と美術館巡りで美術展やデザイン展に出品したりもしていました。今は外出自粛ムードもあるので休日は家庭菜園や子供とパソコンでプログラミングやイラスト制作をして過ごしています。

私が「やまと」に所属して3ヶ月が経ちました。初めての職種で不安もありましたが先輩職員の丁寧なご指導もあり、利用者さんの特性、体調、気分を気にかけながら接する事、作業や配達にも慣れてきました。まだ至らない点が多くあるかと思いますが利用者さんに「今日は来て良かった」と少しでも感じてもらえるように個々のペースに寄り添った関わりを目指に努めたいと思います。

どうかご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



## 広島県共同募金会助成事業完了のお知らせ

この度社会福祉法人広島県共同募金会様から、令和2年度NHK歳末たすけあい配分事業による助成金の交付を受けて、次の事業を完了いたしました。

ここに事業完了のご報告を申し上げますと共に、社会福祉法人広島県共同募金会様をはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。

記

一、事業名	利用者宅訪問及び緊急時対応用車両の整備事業
一、事業内容	車両（ダイハツ タント）の整備
一、事業費総額	1,529,000円
一、助成金額	400,000円
一、事業所名称	地域生活支援センターるり
一、完了年月日	令和3年4月30日



社会福祉法人尾道のぞみ会  
理事長 高垣 孔幸

## 行事報告

- 4月3日、10日 レク「DVD観賞」(瑠璃の屋形) 3日、24日「パソコン教室」(支援センターるり) 5日「花見」(やまと) 9日「パステルアート」(支援センターるり) 17日 レク「ミニゲーム」(瑠璃の屋形) 24日 レク「ウォーキング」(瑠璃の屋形)  
 5月1日、29日 レク「カラオケ」(瑠璃の屋形) 1日、11日「パソコン教室」(支援センターるり) 8日、22日 レク「DVD観賞」(瑠璃の屋形) 15日「尾道ウォーキング」(支援センターるり) 「シティークリーニング」(希望の家)  
 6月4日「海ヘドライブ」(支援センターるり) 5日 レク「向島散歩」(瑠璃の屋形) 「シティークリーニング」(希望の家)「避難訓練」(希望の家)

## 感謝の気持ち

4月[ボランティア]匿名希望様 [物品寄贈]匿名希望様 匿名希望様  
 5月[ボランティア]匿名希望様 6月[ボランティア]匿名希望様 [寄付金] 青山俊之様 [寄付金] 岸谷正樹様

## お問い合わせ先

社会福祉法人 尾道のぞみ会 (ホームページ <http://www.o-nozomi.or.jp/>)

瑠璃の屋形(就労継続支援B型) 広島県尾道市久保町92-2 ☎(0848)37-6040

瑠璃寮(生活訓練:宿泊型、通所型、訪問型・短期入所)

広島県尾道市久保町1714-1 ☎(0848)20-7676

地域生活支援センターるり(地域活動支援センター・指定特定、指定一般相談支援)

広島県尾道市天満町2-10 ☎(0848)38-7151

希望の家(共同生活援助) 瑠璃寮内

やまと(就労継続支援B型) 広島県尾道市御調町大山田1139-2 ☎(0848)76-2356

ヴィータ(就労継続支援B型) 広島県尾道市因島重井町鬼岩5276-17 1階 ☎(0845)26-2580